

<<巻頭挨拶>>

今年の夏は猛暑が続き、観測史上最高という言葉は何度も耳にしました。気象庁長野地方気象台によると、今シーズン穂高エリアでは7月15日～23日まで、9日間連続で35℃超えの猛暑日となり、8月26日には最高気温37.1℃を記録したそうです。平成最後の夏は、記録にも記憶にも残る暑さとなりました。

9月に入ると急激に涼しくなり、日増しに秋の気配が深まっています。日々の寒暖差が激しいこの時期は、いつの間にか疲れが溜まってしまいがちです。皆さん、体調は崩されていませんか？本格的に寒くなる前に、冬支度をして体調管理に一層気をつけましょう。健康なからだづくりへの第一歩は、健康診断を受けること。ご自身の健康に関心を持ち、病気予防のための生活を心がけましょう。



Q&A

当院では、人間ドックを受診された方へ定期的にアンケートを行っております。受診していただいたのご感想・ご意見をお聴かせいただき、より良い医療のご提供、サービス向上に努めて参りたいと思っております。過去にいただいたご意見と、その後の当院の対応についていくつかご紹介させていただきます。

ご意見	回答
◆検査着について サイズ表示を見て選んだら思っていたより小さかった。選ぶ際に大きさのアドバイスがほしい。	当院の検査着は男女共通サイズとなっております。M（150cm以下）、L（150cm～）、LL（165cm～）、3L（180cm以上）と適正身長を表記を加えました。お悩みの方にはお声がけさせていただきます。
◆プライバシーの配慮について 検査時に名前を何度も呼ばれるため周りの目が気になる。 呼ばれる番号が朝の順番と違っている。	検査案内時には、ご本人様確認のため、お持ちのファイルに書かれている番号とお名前でお呼びしております。番号はこちらの管理番号となっており、朝の来院順とは異なりますが、検査や午後の診察は来院された順にご案内しておりますのでご安心ください。 プライバシー上お名前を希望されない方は番号のみでお呼びしております。お申し出ください。
◆設備について トイレでウォシュレットを使ったら、温水ではなく冷たい水がでてきてびっくりした。	エコ活動の一環として、毎年7月～9月まで、院内全てのトイレの暖房便座と温水スイッチを切っております。暑い時期とは言え、肌寒い日には冷たく感じることもあるかもしれませんが、ご協力をお願い致します。
◆乳がん検診について 授乳中でも乳がん検診は受けられますか？	原則として、卒乳後半年以降のご受診をおすすめします。ただし、しこりや痛みなどご心配がある場合は、乳腺外来の受診をおすすめ致します。

～お褒めの言葉もいただいております～

「胃カメラの時、苦しかったですが看護師さんが背中をさすってくれたので不安なく行えました。」
「スタッフの方々が親切で心地よく過ごすことができました。看護師長さん大好きです！」
「皆さん元気で不安な気持ちを盛り上げてくれる。助かっています。」

皆様からいただく温かいお言葉に、スタッフ一同大変励まされております。感謝申し上げます。



新しいオプション検査が始まりました

以前より、お問い合わせを多く頂戴していた2項目のオプション検査を9月より、実施しています。

乳房超音波検査 【3,000円】

乳房に超音波を当てて組織を画像化し、乳腺や乳管の状態や小さな腫瘍の有無を調べます。数ミリの手で触れないようなしこりを見つけ出すことができます。マンモグラフィ検査と併用することで乳がんの早期発見率が高まります。

こんな人におすすめ

- ・マンモグラフィ検査で異常の見つかりにくい方
- ・乳腺の脂肪化の進んでいない方

甲状腺超音波検査 【3,000円】

喉の部分にある甲状腺に超音波をあて、甲状腺の大きさや腫瘍の有無、近辺のリンパ節の腫れなどを調べる検査です。甲状腺疾患によりホルモンバランスが崩れると、疲労感や無気力・動悸や息切れ、カロリー摂取量に不釣り合いな体重の減少などに加え、体感温度の上昇や過剰な発汗など様々な全身症状をきたします。女性に特有の病気と思われがちですが、男性患者の方もいらっしゃいます。

こんな人におすすめ

- ・イライラする、汗かき、動悸、手が震える
- ・甲状腺が全体的に腫れている
- ・甲状腺にしこりができている

事前予約制で行っておりますが、予約状況によっては当日実施可能な場合がございます。スタッフへお声がけ下さい。

新型CTが導入されました

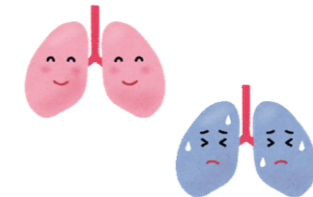
新たな検査機器「最新型64列マルチスライスCT」の設置が完了し、8月17日より稼動しています。

○検査時間の短縮

機器の精度向上により、検査時間が大幅に短縮されました。息止め時間も今までの1/2～1/3と短くなりました。

○高画質、低被ばく

検出器の数が増え、病変を細部まで映し出すことが可能になりました。新しい技術を搭載し、低被ばく線量での撮影が可能になりました。



～日本人の肺ガン死亡率は男女合わせて第1位～

肺ガンの死亡率は男性では第1位、女性でも第2位を占め、年々増加する傾向にあります。禁煙などの予防も大切ですが、同時に早期発見・早期治療が重要です。胸部X線（レントゲン）写真では、肺の約3分の1が近接する臓器（心臓や血管、横隔膜など）と重なるため、小さなガンを見つけることが困難な場合があります。CTは画像診断ですので重なりがありません。早期発見の比率が高く、その治療成績も良好であることで知られています。

～検査方法はとても簡単～

- ①寝台の上におおむけに寝ていただき位置合わせをする
- ②アナウンスに合わせて、息を吸い数秒止めていただく。肺の全体を細かく撮影します。5分程度であつという間に終了します。

こんな人におすすめ

- ・咳、痰などが続く
- ・40歳以上
- ・煙草を吸っている、または吸ったことがある
- ・家族が肺がんを患ったことがある

